

事業所名

こども発達支援ルームビッピーノ（放課後等デイサービス）

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

2月

3日

法人（事業所）理念		法人理念「誰もがLife is good と思える社会を創造する」 事業所理念「生きるために必要な力を育む」									
支援方針		<p>◎1人ひとりの心身の状態や特性に応じて、日常生活の自立、集団生活への適応、認知や運動面の発達の支援を行いながら「基本的信頼感」と「自己肯定感」を育てていきます。</p> <p>◎平日は自ら好きなことを見つけて過ごす「余暇支援」を通して、子どもたちの心身をリラックスさせるとともに、好きなことを見つけ、得意なことを伸ばしていくことで、自信を持ち、毎日を楽しく過ごせるように支援していきます。</p> <p>◎土曜日や長期休暇中は、一日を通じた体験活動を中心に、実際の生活に役立つスキルが身に付くよう支援していきます。また、自分たちで活動を計画したり、行事の準備をしたりすることで、主体性や責任感を育み、達成感を味わえるような取り組みを行っていきます。</p>									
営業時間		9	時	00	分から	17	時	30	分まで	送迎実施の有無	あり 自宅送迎は原則ありません。
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	<p>①健康状態の維持・改善：送迎時での学校との連携、通所時の検温、体調観察等を行い、体調不良時の把握をいち早く行う。自らの体調について意識付けを行い、健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出す事を支援する。</p> <p>②生活のリズムや生活習慣の形成：通所後の荷物整理、水筒・タオルの準備、おやつや食事の自立、排泄の自立等、基本的な生活習慣を身に付ける。身の回りの整理をし、効率の良い生活を送るための基本的技能を獲得できるよう支援する。</p> <p>③基本的な生活スキルの獲得：10円タイムを活用し、各自がスケジュールを確認しながら行動できるように支援する。障害特性に合わせスケジュールを呈示し、本人が理解できるように構造化する。</p>									
	運動・感覚	<p>①姿勢と運動・動作の向上：日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や、運動・動作の改善及び習得を図る。個別支援、集団活動の中で椅子や机を用いた支援を行い、正しい姿勢の習得を図る。</p> <p>②姿勢と運動・動作の補助的手段の活用：補助的手段の必要な子供には家庭と相談しながら進めて行く。</p> <p>③保有する感覚の総合的な活用：保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊具や器具を使った遊びを提供する。巧技台・ボール遊び等を通して、タイミングやバランス感覚、身体の動かし方等の習得を図る。</p>									
	認知・行動	<p>①認知の発達と行動の習得：障害特性に応じて必要な情報を収集しやすいように絵カード、文字カード等を用いて認知機能の発達を促す。集団活動を見える化し、必要なメッセージを自ら選択し行動に繋がれるよう一連に認知過程の発達を支援する。</p> <p>②空間・時間、数等の概念形成の習得：数量の予測、大小の選択、色の認知等、本人の強みや学習スタイル等を理解し「出来た」を積み重ねていく。空間、時間、形、色等の「めばえ」をしっかりと把握し、自信に繋げていく。</p> <p>③対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得：障害特性を理解し、自ら選択し正しく行動できるように支援する。絵カード、スケジュール等を用いて自分に入ってくる情報を適切に処理できるように段階を踏みながら支援する。</p>									

	言語 コミュニケーション	<p>①言語の形成と活用：「帰りの会」での司会を行い、発言の機会を設ける。具体的な体験や言葉の意味を結び付ける等、体系的な言語の習得、自発的な発言を促していく。</p> <p>②言語の受容及び表出：言語またはそれに代わる物（思いを絵で描く）等を通して、相手に思いを伝えたいという事を大切にしていく。</p> <p>③コミュニケーションの基礎的能力の向上：個別支援でコミュニケーションの基礎的能力を付け、それが集団で般化できるように支援する。</p> <p>④コミュニケーションの基礎的能力の向上手段の選択と活用：色々な方法でのコミュニケーション手段（VOCAアプリ、筆談等）を活用し、相手に思いが伝わる喜びを獲得する。</p>	
	人間関係 社会性	<p>①他者との関り（人間関係）の形成：話す、聞く、触れる等のコミュニケーションを通して、人との関係を意識できるように支援する。身近な人との関係を築き、信頼関係を基盤として周囲の人と安定した関係を形成できるように支援する。</p> <p>②自己理解と行動の調整：障害特性を理解し、個々に合った声かけ、支援を行う。できる事、できない事等、自分の特徴を理解して気持ちや感情が調整できるように支援する。</p> <p>③仲間づくりと集団への参加：個別支援から小集団活動へと順に進め、個々の状況や状態に合わせて集団活動へ促していく。友だちと一緒に活動することが楽しいという感覚が持てるようにしていく。</p>	
家族支援	<p>◎面談を通してお子様の様子や支援の方針及び内容の情報提供、子育てに関する困りごとの相談援助を行います。</p> <p>◎アプリ等を活用し、随時相談ができる体制を整えています。</p> <p>◎保護者向けのつどいや研修を実施し、保護者同士の交流、発達支援に関する学びの機会の提供を行います。</p> <p>◎家族のレスパイトの時間の確保や預かりニーズに対応するための延長支援を実施します。</p> <p>◎お子様の様子や保護者のご希望に合わせて必要な機関の紹介や連携を行います。</p>	移行支援	<p>◎ライフステージの切替を見据え、放課後児童クラブへの移行支援を行います。これに伴う移行先との連携を図ります。</p> <p>◎放課後児童クラブと併行利用している場合は、利用先との連携を図り、支援方針や支援内容の共有を行い、必要に応じて移行先の相談援助を行います。</p>
地域支援・地域連携	<p>◎個別のケース検討会議に出席します。</p> <p>◎協議会等へ参加し、地域課題に対して積極的に取り組みます。</p> <p>◎地域資源を活用し、地域住民との交流を図る機会を作ります。</p>	職員の質の向上	<p>◎外部講師を招いた事業所内研修の実施（年2～3回）</p> <p>◎Eラーニングを活用したスキルアップ研修の実施（随時）</p> <p>◎外部研修の紹介、専門書籍等の閲覧等、自己研鑽できるための環境整備</p>
主な行事等	夏祭り、施設外での活動、避難訓練（年2回）、その他季節行事の工作やレクリエーション等。		